警告

あなたと他の人の安全を守るために次の指示に従ってください。

●作業を始める前に

- この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法をご理解のうえで操作してください。
- 間違いなく取扱うために各部の操作に慣れ、すばやく停止させる方法を習得してください。
- 過労や病気、薬物の影響で運転操作に支障があるときは本機を使用しないでください。判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。
- 頭髪、衣服、手ぬぐいなどが巻き込まれないように、作業に適した服装をしてください。また滑り止めのついた作業に適した靴をはいてください。思わぬ事故を起こすことがあります。
- 日常点検・整備を必ず行い、本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合のある状態で操作すると、大けがをすることがあります。点検作業は、通行の妨害にならない平坦で安全な場所で行ってください。防護装置が正しく取付けられていることを確認してください。
  点検・整備のために取外された部品は正しく取付けられ、確実に締付けられていることを確認してください。
- 屋内や換気の悪い場所では、エンジンをかけないでください。
  有害な一酸化炭素によるガス中毒のおそれがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。
  燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、換気のよい場所で補給してください。また燃料を補給するときや燃料の保管場所では、たばこを吸ったり炎や火花を近づけないでください。
- 燃料はこぼさないように注意し、所定のレベル(給油限界位置)を超えないように補給してください。燃料キャップを確実に締め、もし燃料がこぼれた場合はきれいにふき取り、よく乾かしてからエンジンを始動してください。
- 本機の操作は２本のハンドル バーをしっかり握り、本機の後方に立って操作をしてください。荷台の上に乗ったままの操作は絶対にしないでください。転落などにより、けがをするおそれがあります。

こ れ だ け は ぜ ひ 守 り ま し ょ う

警告

- カバーやラベル類、その他の部品を外して操作しないでください。また本機の改造は絶対にしないでください。適正な機能を発揮しなくなり、思わぬ事故を招くおそれがあります。
- 荷台に人を乗せて乗り物代わりの使用は絶対にしないでください。
- 適切な説明がない状態で他の人に本機の操作をさせないでください。
  特に子供には絶対にさわらせないでください。
- 他の人に本機を貸し出す場合は、取扱方法をよく説明し取扱説明書よく読むように指導してください。

●荷物の積載

- 過積載は絶対にしないでください。積載の量、方法を必ず守って使用してください。「積載のしかた」(37頁参照)
- 荷台に荷物を積載する場合は荷崩れしないように、しっかりとロープで固定してください。
- 荷台からはみ出すような荷物は積載しないでください。荷物が落下したり、狭い道で荷物が接触したり、運転操作に支障をきたします。
- 高く荷物を積載しないでください。前方の視界をさまたげるばかりでなく、重心が高くなり転倒するおそれがあります。

●作業中

- 作業中は周囲の安全に十分注意してください。
- 本機と接触してけがをすることがないように、作業範囲内に人やペットを近寄らせないでください。特に子供には注意が必要です。人やペットが近づいて来たときは、エンジンを止めて作業を中断してください。事故を起こすおそれがあります。
- 運転中は、クローラ部に手や足を近づけないでください。またフェンダやシフト パターン プレートに足をかけないでください。

警告

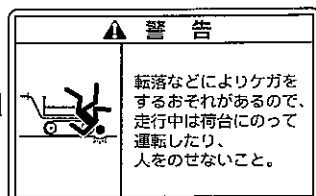
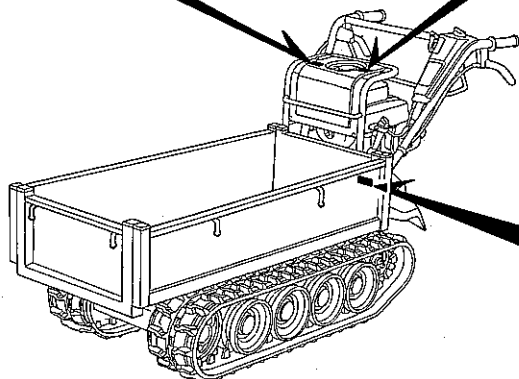
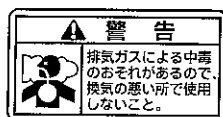
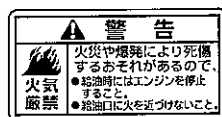
- 後進で使用するときは滑ったり、つまずいたりする場合がありますので足元、荷崩れ、後方視界などに十分注意してください。
- 視界が悪いときは障害物にぶつかる場合がありますので本機を使用しないでください。
- 作業場への出入り、溝や畦の横断、砂地での使用、軟弱地の通過、傾斜地での発進、停止、旋回などは転倒するおそれがありますので注意して走行してください。
- 傾斜地で駐車しないでください。駐車をするときは平坦な場所でエンジンを止めて、変速レバーを中立にし、走行レバーを〝停車〟にしてください。
- 急傾斜地での旋回および変速は、転落するおそれがありますので避けてください。
- 軟弱な道の走行は路肩が崩れ、転倒、転落するおそれがありますので避けてください。
- 本機の転倒を避けるため、15度以上の上りの傾斜地や15度以上の下りの傾斜地では使用しないでください。
- 作業中に異常を感じたら、平坦な場所でエンジンを停止させてください。誤ってエンジンが始動しないようにエンジン スイッチを〝停止〟にして点火プラグ キャップをプラグから取外し、変速レバーを〝中立〟にして、走行レバーを〝停車〟にしてから点検してください。
- 運転中はエンジンやマフラ(消音器)などは非常に熱くなっています。エンジン停止後もしばらくの間は熱いままになっています。やけどのおそれがありますので、エンジンやマフラなどに触れないように注意してください。
- クローラの上面が水に浸かるような深い水田などでは使用しないでください。

警告

●作業が終わったら

- 次の作業に備えて本機の点検・整備を実施してください。
- やけどの原因とならないように、エンジンを停止させ、エンジンやマフラなどが冷えてから各部の清掃をしてください。
- 本機を室内に格納するときは火災の原因とならないように、エンジンが冷えたのを確認してからボディ カバーなどをかけて格納してください。
- 長期保管するときは、キャブレータ(気化器)や燃料タンク内の燃料を抜取り火気のないところに保管してください。また、燃料を抜くときは、引火性があり火災や爆発の危険がありますので、燃料用の安全な容器を使用してください。
- トラック(車)への積み降ろしをするときは、必ずアユミ板を使用し、低速で行なってください。転倒や落下した場合にけがをするおそれがあります。

●安全ラベル

本機を安全にご使用いただくため、本機には安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべてお読みになってからご使用ください。
ラベルは、はっきりと見えるようにきれいにしておいてください。
本機に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失で読めなくなったときは、新しいラベルに張り替えてください。
また安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しいものを貼ってください。
安全ラベルはお買いあげいただいた販売店にご注文してください。

警　告
死傷事故防止のため、下記および取扱説明書を
読み、理解して正しく取扱うこと。
■ 急発進防止のため、エンジン始動時は、
主クラッチを切り、すべての変速レバーを中立にすること。
■ 点検整備時はエンジンを停止すること。
■ 小型特殊自動車の認定を受けていないので、
公道を走行しないこと。
■ ケガをしたり機械の故障をまねくおそれがあるので、
● 乗り越え、溝のある場所、斜面、草地、濡れた場所
などでは、十分注意して、スピードを落として
走行のこと。
● 最大作業能力以上の積載はしないこと。
警　告
急な坂道では思わぬ
方向に本機が旋回し、
転落などの事故により
ケガをするおそれが
あるので、サイド
クラッチレバーを操作
しないこと。
注　意
ヤケドをする
のでマフラーに
ふれないこと。
警　告
障害物と本機の間に
はさまれてケガをする
おそれがあるので、
後進する時は、スピードを
落とし足元に注意して、
後方に障害物がないか
確認のこと。
警　告
荷台が急に下がりケガを
するおそれがあるので、
点検整備等は、必ず平地で
ダンプロックを用い、荷台が
落下しないことを確認して
から作業を行うこと。
警　告
はさまれてケガをする
おそれがあるので、
クローラには手足を
近づけないこと。